

エコアクション21 環境経営活動レポート

(2019年度版)



エコアクション21

認証・登録番号 0005302

 **土佐新高建設 株式会社**

運用期間 2019年4月～2020年3月
発行日 2020年6月16日



目 次

1.	組織の概要	-----	1
2.	対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	-----	2
3.	環境経営方針	-----	3
4.	環境管理組織体制	-----	4
5.	環境経営目標	-----	5
6.	環境経営目標の実績	-----	7
7.	環境経営活動計画の取組結果とその評価	-----	9
8.	次年度の環境経営活動計画の取組内容	-----	11
9.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	-----	12
10.	代表者による全体評価と見直しの結果	-----	15

1. 組織の概要

事業所名および代表者名

土佐新高建設株式会社
代表取締役 西原靖

所在地

【本社】 高知県高知市北竹島町490 TEL.088-832-3931
【幡多営業所】 高知県四万十市三里1391 TEL.0880-38-2055

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名 工事部長 吉村直則
連絡先担当者 工事部長 吉村直則
連絡先 TEL: 088-832-3931
FAX: 088-832-3536
E-mail: n-yoshimura@tosashinko.co.jp

事業内容

建設業 (主に 道路、スポーツ施設等の舗装工事を行っております。)

建設業許可

許可番号 高知県知事 許可(特一27) 第 6237号
許可年月日 平成27年8月10日
建設業の種類 土木工事業 とび・土工工事業 石工事業
舗装工事業 しゅんせつ工事業 水道施設工事業

事業規模

設立 昭和 63年 4月
資本金 2,000万円

	2017年度	2018年度	2019年度
売上高 (百万円)	910	964	1152
従業員数 (名)	37	34	32
事業所延べ床面積 (m ²)	295	295	295

従業員数は 32人(2020年6月1日現在)

会計年度

会計年度: 4月～3月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲(認証・登録範囲)】

全社の事業所及び現場

本社: 高知県高知市北竹島町490

(常駐: 25名)

幡多営業所: 高知県四万十市三里1391

(常駐: 7名)

【レポートの対象期間】

2019年4月 ～ 2020年3月

【環境活動レポートの発行日】

2020年6月16日

(次回発行予定日=2021年 6月頃)

【作成責任者】

環境管理責任者 吉村直則

3. 環境経営方針

環境経営理念

土佐新高建設株式会社は、高知県内を主体に道路等の舗装工事を行っています。
地球や地域の環境を守り、美しい地球を子供たちに引き継いでいく為、
事業活動における環境負荷を低減し、継続的改善による環境経営を推進していきます。

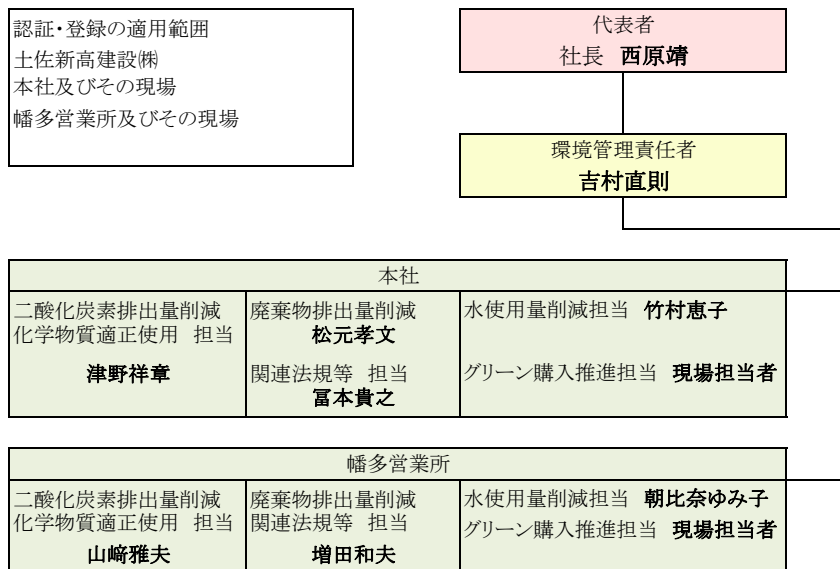
環境経営方針

- 1) 全部署の従業員に対して、環境経営方針を掲示等により周知させ、環境経営に関しての教育を行い、環境保全の重要性を高めるように啓発活動を行います。
- 2) *重機、車両の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
*建設作業及び本社業務における廃棄物排出量を削減します。
*業務における水使用量を削減します。
*化学物質の使用時は、購入～使用～廃棄まで一貫して適切に監視します。
- 3) 環境負荷の少ない工事を行います。
- 4) グリーン購入を進め、環境に優しい事業活動を行います。
- 5) 環境関連法規並びに条例を遵守します。
- 6) 環境活動のP・D・C・Aを継続し、持続的に環境への負荷の低減を図ります。
- 7) 「環境経営レポート」を作成し、一般に公表します。

2019年4月22日
土佐新高建設株式会社
代表取締役

西原 靖

4.環境管理組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な 人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営活動計画・環境経営活動実施体制を承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境経営レポートの承認。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムシステムの構築、実施、管理。 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 環境経営目標・環境経営活動計画・環境経営活動実施体制を確認。 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告。 環境経営レポートの確認。
ワーキンググループ	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進の事務局として機能する。 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境経営目標、環境経営活動計画・環境経営活動実施体制原案を作成。 環境経営活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施。 自部門における環境経営方針の周知。 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告。 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成。 テスト、訓練を実施、記録の作成。 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加。

5-(1). 環境経営目標

対象期間 2019年4月～2020年3月

2019年度 単年度目標

総量の目標値

項目	単位	基準値	2019年度 目標
二酸化炭素排出量	k g -CO ₂	266, 973	264, 303 (-1%)
燃料使用量	ガソリン	ℓ	23, 219 23, 916 (+3%)
	軽油	ℓ	66, 957 70, 974 (+6%)
電力使用量	k W h	35, 300	24, 357 (-31%)
廃棄物総排出量	t	4, 393	3, 558 (-19%)
廃棄物再資源化率 ※1	%	97. 7	99以上
水使用量	m ³	630	460 (-27%)
グリーン購入	%	74. 2	79. 4 (+7%)
化学物質適正管理	工事件数	使用を監視し、適正に管理する。	全工事
環境負荷の少ない工事件数割合※2	%	100	100

※1 廃棄物再資源化率＝産業廃棄物再資源化量/産業廃棄物総排出量

※2 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- ・再生砕石、再生合材を使用する。
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- ・施工日数を短縮する検討を行う。
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用

売上高百万円当たりの目標値

項目	単位	基準値	2019年度 目標
二酸化炭素排出量 (削減率%) ※3	k g -CO ₂	366. 0	275. 3 (-25%)
燃料使用量	ガソリン	ℓ	32. 0 24. 9 (-22%)
	軽油	ℓ	92. 0 73. 9 (-20%)
電力使用量	k W h	49. 0	25. 4 (-49%)
廃棄物総排出量	t	5. 74	3. 71 (-35%)

※3 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省・経済産業省公表値による。

四国電力(株) 0. 000529 t-CO₂/kWh
 プレミアムグリーンパワー(株) 0. 000 t-CO₂/kWh

5-(2). 中・長期目標

総量の目標値

項目	単位	基準値	2020年度 目標	2021年度 目標	2022年度 目標	
二酸化炭素排出量	k g -CO ₂	266, 973	261, 634 (-2%)	258, 964 (-3%)	256, 294 (-4%)	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	23, 219	23, 683 (+2%)	23, 451 (+1%)	23, 219 (±0%)
	軽油	ℓ	66, 957	70, 305 (+5%)	69, 635 (+4%)	68, 966 (+3%)
電力使用量	k W h	35, 300	24, 004 (-32%)	23, 651 (-33%)	23, 298 (-34%)	
廃棄物総排出量	t	4, 393	3, 514 (-20%)	3, 470 (-21%)	3, 427 (-22%)	
廃棄物再資源化率 ※1	%	97.7	99以上	99以上	99以上	
水使用量	m3	630	454 (-28%)	447 (-29%)	441 (-30%)	
グリーン購入	%	74.2	80%以上	81%以上	81%以上	
化学物質適正管理	工事件数	使用を監視し、適正に管理する。	全工事	全工事	全工事	
環境負荷の少ない工 事件数割合※2	%	100	100	100	100	

※1 廃棄物再資源化率＝産業廃棄物再資源化量/産業廃棄物総排出量

※2 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- ・再生砕石、再生合材を使用する。
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- ・施工日数を短縮する検討を行う。
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用

売上高百万円当たりの目標値

項目	単位	基準値	2020年度 目標	2021年度 目標	2022年度 目標	
二酸化炭素排出量 (削減率) ※3	k g -CO ₂	366.0	270.8 (-26%)	267.2 (-27%)	263.5 (-28%)	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	32.0	24.6 (-23%)	24.3 (-24%)	24.0 (-25%)
	軽油	ℓ	92.0	72.7 (-21%)	71.8 (-22%)	70.8 (-23%)
電力使用量	k W h	49.0	24.5 (-50%)	24.0 (-51%)	23.5 (-52%)	
廃棄物総排出量	t	5.74	3.67 (-36%)	3.62 (-37%)	3.56 (-38%)	

※3 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省・経済産業省公表値による。

四国電力㈱ 0.000529 t-CO₂/kWh
プレミアムグリーンパワー㈱ 0.000 t-CO₂/kWh

6. 環境経営目標の実績

対象期間 2019年4月～2020年3月

- ※ 達成率=(実績値/目標値-1)*100 (%)
 (数値がマイナスであればより削減できたことを表し、プラスであれば目標値に達しなかった事を表します。)
- ※ 実測値の()の数値は基準値に対する削減比率です。
- ※ 基準値は、2012年度～2014年度の実績の平均値を取って設定したものです。
- ※ グリーン購入の目標値は、当社の主たる事業活動である舗装工事において使用する砕石とAs.合材の再生材料の使用率とすることに改めた。

各項目の総量の実績								
項目	単位	基準値	2019年度 目標値	2019年度 実績値	達成率 (%)	実績費用 (万円)	単価 (円)	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	266,973	264,303 (-1%)	238,789 (-10.6%)	-9.7	1,272	53	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	23,219	23,916 (+3%)	23,406 (+0.8%)	-2.1	336	144
	軽油	ℓ	66,957	70,974 (+6%)	64,754 (-3.3%)	-8.8	782	121
電力使用量	kWh	35,300	24,357 (-31%)	26,501 (-24.9%)	+8.8	77	29	
廃棄物総排出量	t	4,393	3,558 (-19%)	6,406 (45.8%)	+80.0	1,090	1,702	
廃棄物再資源化率	%	98	98 以上	100 (+2.0%)	+2.0			
水使用量	m ³	630	460 (-27%)	496 (-21.3%)	+7.8			
グリーン購入	%	74.2	79 以上	91.9 (+17.7%)	+12.9			
化学物質適正管理	工事件数	使用時には 適正に管理する。	全工事	使用なし	-			
環境負荷の少ない工 事数割合 ※1	%	100	100	100	100			

- ※ =目標を達成した項目 =目標を達成しなかった項目
- ※ 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省・経済産業省公表値による。
 四国電力(株) 0.000529 t-CO₂/kWh
 プレミアムグリーンパワー(株) 0.000 t-CO₂/kWh

- ※1 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。
 ○再生砕石、再生合材の使用 ○低騒音、排出ガス対策型重機の使用 ○施工日数を短縮する検討 ○型枠、工事看板への間伐材の使用
- ※ 集計の詳細は、「環境への負荷の自己チェック」による。

各項目の原単位(売上高百万円)当りの実績								
項目	単位	基準値	2019年度 目標値	2019年度 実績値	達成率 (%)	実績値 -基準値	利益 (円)※1	
二酸化炭素排出量	k g -CO ₂ /百万円	366	275 (-25%)	207 (-43.4%)	-24.8	△ 159	8,427	
燃料使用量	ガソリン	ℓ /百万円	32	25 (-22%)	20 (-37.5%)	-19.7	△ 12	1,728
	軽油	ℓ /百万円	92	74 (-20%)	56 (-39.1%)	-24.3	△ 36	4,356
電力使用量	k W h /百万円	49	25 (-49%)	23 (-53.1%)	-9.3	△ 26	754	
廃棄物総排出量	t /百万円	5.74	3.71 (-35%)	5.56 (-3.1%)	+50.0	△ 0.18	306	
<p>2019年度の売上高は 1152 (百万円)でした。</p> <p>※1 売上高百万円当たりの利益とは、各項目の(本年度実績値-基準値)*単価により算出しました。 単価は、前ページの各項目の実績に要した費用に対する単価です。 二酸化炭素排出量及び廃棄物排出量の削減の環境活動により、基準値に対し売上高百万円当たりでは、8,427円+ 306円= 8,733円となっております。</p> <p>2019年度の売上1153百万円あたりでは、8,733×1,153= 10,069,149円コストダウンしたことになります。</p>								
<p>○ 想定していた売上高(960百万円)に対して、本年度売上高は1152百万円であったが、燃料使用量は削減されており、二酸化炭素排出量の比率は目標より良い結果であった。</p> <p>○ 未達成理由 電気使用量…工事量増加に伴い事務量が増え、電力使用量が増加したため。 水使用量…宿舍利用者の増加により水使用量が増加したため。 廃棄物排出量…舗装工取壊し工事の受注によって、産廃排出量が増加したため。</p>								

7. 環境経営活動の取組結果とその評価

対象期間 2019年4月～2020年3月

項目		取り組み内容	担当者	取組結果	評価	見直し
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	○重機、車両のアイドリングストップ	オペレーター	日々の作業指示書でチェック	結果も併い良好である。	継続する
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	オペレーター			
		○タイヤの空気圧チェック	車両担当者	定期点検の実施		
		○タイヤの磨耗チェック、交換	車両担当者			
		○できるだけ相乗りで行く。	工事担当者	前日の段取り打合せ		
	電力使用量削減	○昼休み・帰宅時の消灯	竹村：山崎：朝比奈	工事量増加に伴い事務量が 増え、電力使用量が増加	原単位当たりの目標値を 達成できている。	継続する
		○不要照明の消灯（人がいない場所の消灯）	竹村：山崎：朝比奈			
		○空調機の温度設定（夏28℃、冬18℃）	竹村：山崎：朝比奈			
		○不使用時のパソコンの電源OFF	技術職・事務職員			
	水使用量削減 (排水量削減)	○工事に自然水（河川水等）利用	オペレーター	宿舍利用者の増加により 水使用量が増加	原単位当たりの目標値を 達成できている。	継続する
○食器等のまとめ洗い		炊事婦				
○車両の洗車時に水の流しっ放しにしない。		車両担当者				
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底	松元	事務量の増加により、 一般廃棄物も増加	目標を達成することが できなかった。	違法な廃棄をすることなく、 ルールに従って活動する。 目標値は変えない。
		○コピー用紙の裏紙使用	技術職・事務職員			
		○両面コピー、縮小コピーの実施	技術職・事務職員			
	産業廃棄物	○アス殻、コン殻に土砂が混じらないように積み込む。	オペレーター	舗装工取壊し工事の受注に よって、産廃排出量が増加		
		○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。	工事担当者			
		○現場実測を行い、端材の発生を抑制する。	工事担当者			
○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理を実施。	工事担当者					
グリーン購入	○用品発注時にエコマーク、グリーンマーク商品を選定する。	山崎：朝比奈	再生材料の使用率 91.9%	良好である。	継続する	
	○認定リサイクルアスファルト合材を使用する。	工事担当者				
	○設計・見積り時に再生材料を選定する。	松元				
化学物質排出量削減	○化学物質とならない材料の選定	工事担当者	使用実績なし	監視する。	継続する	
	○事前に使用量を確認し、無駄な使用は行わない。	工事担当者				
	○化学物質使用量削減の為に工法検討実施	工事担当者				
環境負荷の少ない工事実施	○再生砕石、再生合材を使用する。	工事担当者	全ての元請工事で実行できた	良好である。	継続する	
	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	工事担当者				
	○施工日数を短縮する検討を行う。	工事担当者				
	○型枠、工事看板への間伐材の使用	工事担当者				

2019年度の環境経営活動トピックス

< 非常時訓練 >

消火訓練を毎年行っております。
いざという時の為に訓練を続けております。



< ロードボランティア >

ロードボランティアを2019年度も引き続き
行っております。
ゴミ拾いも慣れたものです。
(高知市棧橋通)



8. 次年度の環境経営活動計画の取組内容

項目			担当者	備考
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○重機、車両のアイドリングストップ	オペレーター	作業指示書に記録
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	オペレーター	
		○タイヤの空気圧チェック	車両担当者	
		○タイヤの磨耗チェック、交換	車両担当者	3か月毎、契約工場にて点検を受ける。
		○できるだけ相乗りで行く。	工事担当者	
	電力使用量 削減	○昼休み・帰宅時の消灯	竹村：山崎：朝比奈	
		○不要照明の消灯（人がいない場所の消灯）	竹村：山崎：朝比奈	
		○空調機の温度設定（夏28℃、冬18℃）	竹村：山崎：朝比奈	
○不使用時のパソコンの電源OFF		技術職・事務職員		
水使用量削減 (排水量削減)	○工事用に自然水（河川水等）利用	オペレーター		
	○食器等のまとめ洗い	炊事婦		
	○車両の洗車時に水の流しっ放しにしない。	車両担当者		
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底	松元	集計表に計量値を記録
		○コピー用紙の裏紙使用	技術職・事務職員	再利用できる紙は所定の置き場に置く。
		○両面コピー、縮小コピーの実施	技術職・事務職員	
		○印刷前の書類の文書確認の徹底	技術職・事務職員	
	産業廃棄物	○アス殻、コン殻に土砂が混じらないように積み込む。	オペレーター	
		○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。 ○現場実測を行い、端材の発生を抑制する。	工事担当者 工事担当者	
グリーン購入	○用品発注時にエコマーク、グリーンマーク商品を選定する。	山崎：朝比奈		
	○認定リサイクルアスファルト合材を使用する。	工事担当者		
	○設計・見積り時に再生材料を選定する。	松元		
化学物質排出量削減	○化学物質とならない材料の選定	工事担当者		
	○事前に使用量を確認し、無駄な使用は行わない。	工事担当者		
	○化学物質使用量削減の為に工法検討実施	工事担当者		
環境負荷の少ない工事実施	○再生砕石、再生合材を使用する。	工事担当者		
	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	工事担当者		
	○施工日数を短縮する検討を行う。	工事担当者	工期の短い工法への変更も検討する。	
	○型枠、工事看板への間伐材の使用	工事担当者	県工事は工事毎県へ報告	

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社の事業に該当する環境関連法規等の遵守状況（法規）

対象期間 2019年4月～2020年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	松元	遵守	2020/4/22
	第12条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	松元	遵守	2020/4/22
	第12条の10、11項	○多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	松元	遵守	2020/4/22
	第12条の三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	松元	遵守	2020/4/22
	第12条の三7項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	松元	遵守	2020/4/22
	第14条	○産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可（5年毎に更新） ○産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分表示、書面備付義務	期限切れ 3ヶ月前	松元	遵守	2020/4/22
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	松元	該当なし	2020/4/22
資源の有効な利用の促進に関する法律 （リサイクル法）	第4条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	松元	遵守	2020/4/22
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	松元	遵守	2020/4/22
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	松元	該当なし	2020/4/22

騒音規制法	第5条 第14条	○騒音規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時 必要時	富本	遵守	2020/4/22
振動規制法	第5条 第14条	○振動規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時 必要時	富本	遵守	2020/4/22
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長 への許可 第1石油類 ガソリン: 200ℓ 第2石油類 灯油、軽油: 1,000ℓ 第3石油類 重油: 2,000ℓ 第4石油類 潤滑油: 6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	富本	該当なし	2020/4/22
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	富本	該当なし	2020/4/22
フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第19条 第5条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO ₂ -t/年以上、事業所所管大臣への報告 ○定期点検の実施 エアコン: 3.7kW以上50kW未満 エアコン: 50kW以上 冷蔵機器、冷凍機: 3.7kW以上	年1回 1回/3年 1回/年 1回/年	富本	該当なし	2020/4/22
浄化槽法	第10条 第11条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	年1回	富本	該当なし	2020/4/22
下水道法	第10条	○下水道に下水を流入させる為の排水管、 排水渠等の設置	必要時	富本	遵守	2020/4/22
水質汚濁防止法	第12条	○事業所排出口における排水基準に適合しない 排出水の排出制限	必要時	富本	遵守	2020/4/22
	第14条の四	○事業者の責務 公共用水域又は地下水の水質汚濁防止の ための必要な措置の実施	必要時	富本	遵守	2020/4/22

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無 (法規)

2019年 4月 1日より 2020年 3月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

(9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無)

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 (条例)

対象期間 2019年4月～2020年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	富本	遵守	2020/4/22
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	富本	遵守	2020/4/22
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	富本	遵守	2020/4/22
高知市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	富本	該当なし	2020/4/22
四万十市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 環境負荷の低減、その他環境保全	必要時	富本	遵守	2020/4/22
四万十市四万十川の保全及び 振興に関する基本条例	第7条	○景観保全に関する届出 ・土石の採取 ・盛土、切土による土地の形状変更 ・屋外において土石、廃棄物、再生資源、 再生部品の蓄積、貯蔵する行為 ・天然林を伐採し、スギ・ヒノキの植樹 ・看板、広告板、ソーチライト照明等の設置	必要時	富本	遵守	2020/4/22
幡多西部消防組合火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	富本	該当なし	2020/4/22

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無 (条例)

2019年 4月 1日より 2020年 3月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

10.代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による全体の評価と見直し

様式 KY-006-1

社長サイン

西原、靖

情報の報告				社長による見直し	
(環境管理責任者による報告)		報告日: 2020年6月10日		2020年6月10日	
[取組状況の評価結果]				[環境方針]	
①関連法規等の遵守状況 環境関連法規等への違反、訴訟はありませんでした。				今期、環境方針は変更しない。 変更の必要性: 有 (無)	
②問題点の是正処置状況 今期内での問題点の是正はありませんでした。				[目標・活動計画]	
③前回までの社長の指示事項への対応 本年度も環境活動をコストに置き換えた数値を計算しております。 2019年度の活動実績は下記のとおりです。				エコアクション21の環境活動は順調に継続されている。	
[目標・環境活動計画の達成状況]					
目標項目	目標値 達成状況	環境活動 達成状況	コメント		
二酸化炭素削減	○	○	出来高が増えたにもかかわらず二酸化炭素排出量を削減しております。		
廃棄物削減	×	○	舗装版取壊しを伴う工事を多数受注し、産業廃棄物の排出量が増えております。		
節水	△	○	宿舍利用者の増加に伴い、事務所での水使用量が増加しております。		
グリーン購入	○	○	工事において、再生材料の使用率が91.9%に達しております。		
化学物質	○	○	今期に化学物質の使用はありませんでした。		
[周囲の変化の状況]				[環境経営システムの各要素]	
①外部コミュニケーション記録より 本社、幅多とも苦情はありませんでした。				環境活動をコストに換算した数値には興味深いものがある。今後も環境活動とコスト削減をリンクして経営していく。	
②環境関連法規等の改訂動向 今期、当社の事業に関する環境関連法規制等の改定はありませんでした。				変更の必要性: 有 (無)	

社長の指示を受けての是正内容

昨年改正した環境目標に沿って環境活動を継続します。

環境管理責任者: 吉村直則